

令和4年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	義務教育学校の中核を構成するリーダーシップ・フォロアーシップを育む協働学習プログラムの開発
事業実施代表者名	附属釧路義務教育学校長 内 山 隆
実施附属学校名	附属釧路義務教育学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>国内においても過疎化が急速に進む道東地域では、『地域の担い手』育成を念頭においたリーダーシップ教育及び、リーダーのリーダーシップを支えるフォロワーシップ教育が重要になる。本研究は、リーダーシップ・フォロワーシップを育む汎用性のある学習プログラム開発に取り組むものである。</p> <p>リーダーシップ教育は、これまで学校内において、特別活動等を中心に経験的に指導されてきたが、教育課程の中で体系的・系統的に意図的に研究・指導されることが少なかった。また道東地域においては、初任段階教諭の割合が多い小規模校や、小規模校であるがゆえに免許外指導が不可避の後期課程が多く存在することから汎用性のあるプログラム（モデル）が求められている。</p> <p>そこで、協働的な学習における、拡大掲示物（絵図）、書画カメラによるリアルタイムでの即時的な映像、iPadを活用して収集したり作成したりした情報等の教材開発や効果的な活用方法について研究することで、リーダーシップ・フォロアーシップの柱となる資質・能力である社会的協働性やリテラシー、コミュニケーション力が育まれるとともに、公立学校に対して、「リーダーシップ・フォロアーシップを育む協働学習プログラム」について情報提供ができる考えた。</p> <p>具体的には、これらの研究を推進するために前期課程では、本経費でiPadを購入した。様々な場所における学習活動を展開する授業の記録を取り、子供たちの協働的な学習場面におけるリーダーシップ・フォロワーシップの発揮について見取りを行った。</p> <p>後期課程では、先行研究を継続中の情報活用能力育成事業を深化発展させ、全ての教科等において教育活動におけるICT（特にiPad）の活用に取り組んできた。様々なICT機器活用の授業力向上セミナーを企画、実施するなど、積極的にICTを活用した授業開発、授業研究や公立校へのICT教員研修支援事業を推進した。</p> <p>今後も改善に向けた授業研究を推進中である。研究成果に関しては、広く教育局、市町村教育委員会を始め多くの公立学校と連携を進めており、授業力向上セミナーや出前授業、ICT教員研修支援事業の全面的な協力と実践成果を積み重ねている。</p>

<p>成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)</p>	<p>前期課程においては、ICT機器を活用し、協働的な学習場面でのリーダーシップ・フォロワーシップの発揮や育ちを見取り、授業改善につなげることができた。</p> <p>また、これらを含めた義務教育学校の取組を収めた報告書を基に全道の各学校及び教育委員会に発信することに、複数校や教頭会、教育委員会等の視察や校内研修の講師、セミナー等での実践発表の依頼を受け、本校の取組を広く紹介し、好事例として活用していただくことができた。</p> <p>後期課程では、これまでのICT機器を活用した教育実践やコロナ禍でのオンライン授業の研究成果をまとめた「主体的・対話的で深い学びを指向するオンライン授業」と題した冊子を一昨年度道内の公立学校及び教育関係機関に提供している。</p> <p>今年度はさらにICT機器を効果的に活用したハイブリッド型授業の実践を通して、これまでの授業スタイルとの転換により「共同体的学習意識」の変容を視点の一つとして、今年度、教育研究を進め今後の具体的な実践例として広く発信する予定である。</p> <p>特に、オンライン授業およびiPad等ICT機器を活用したハイブリッド型授業の教育研究に関しては、地域のニーズに応じた授業力向上セミナーを数多く企画・周知し、来校型による公立学校教員の「出稽古研修」やリモート開催、講師として派遣型など、道東地区の教員研修支援センターとして、広く地域の教育実践に貢献することができたと考える。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>義務教育学校（9年間）の中で、各教科等の目標や活動内容に応じ、学習課題や自身の考え、その根拠等を、他者と共有することで「主体的・対話的で深い学び」を実現させ、リーダーシップ・フォロワーシップの柱となる資質・能力である社会的協働性やリテラシー、コミュニケーション力を育むためには、今後一層の視覚的情報の教材化、ICT機器の環境整備を進める必要がある。</p> <p>加えて、学習指導要領においては、「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、教科等横断的にその育成を図るとともに、その育成のために必要なICT環境を整え、それらを適切に活用した学習活動の工夫と充実を図ることとしている。この点からも、継続的にICT環境整備を進めることが喫緊の課題といえる。</p> <p>また、本事業による「リーダーシップ・フォロワーシップを育む協働学習プログラム」については、ホームページ上で実践事例として随時、積極的に情報提供するとともに、授業力向上セミナー等を通して、今後も提案していく予定である。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開し</p>	<p>①附属釧路義務教育学校後期課程 HP https://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_kus_chu/study/seminer3</p>

<p>た場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>html https://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_kus_chu/study/semi_nar55.html ②附属釧路義務教育学校前期課程 HP https://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_kus_chu/study/semi_ner3.html https://fuzokushi-ro2.blogspot.com/ * 「研究活動」の実践事例，日常の学習活動の様子として紹介</p>
---	---

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。

支出実績額内訳

(附属学校名 附属釧路義務教育学校)

区 分	予算額	支出実績額	内訳 (簡潔に記載すること)
旅 費	千円 0	千円 0	
謝 金	0	0	
備 品 費	564	564	i P a d 5台 453,000円 ノートパソコン 1台 110,880円
消耗品費	289	289	トナーカートリッジ 4個 97,427円 インクカートリッジ 6個 43,477円 拡大機用ロール紙 2箱 17,919円 リソグラフィンク 3箱 16,830円 リソグラフィマスター 3箱 34,168円 パソコンバッグ 1個 2,046円 ワイヤレスマイク 1箱 4,378円 HDMI ケーブル 5本 8,305円 HDMI 変換器 2台 5,368円 外付けSSD 2台 32,076円 ピンマイク 6台 27,126円
そ の 他	0	0	